

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月30日

札幌市長 様

提出者

住 所 札幌市白石区東札幌2条6丁目8番1号

氏 名 ミサワホーム北海道株式会社 住宅事業本部

副本部長 南波 宏行

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 011-822-0500

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ミサワホーム北海道株式会社 住宅事業本部
事業場の所在地	札幌市白石区東札幌2条6丁目8番1号
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完工高 6,155百万円
③ 従業員数	188名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

住宅事業本部 建設設計推進部長(責任者)

建設設計推進部次長(副責任者)

建設設計推進部建設課長(現場責任者)

建設設計推進部課長(実務責任者)

現場管理者(現場管理)

建設設計推進部実務担当者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 石膏ボードのプレカット化を標準とし石膏ボードの端材発生の抑制への取り組みを実施済。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現場施工状況から石膏ボードのプレカット精度の向上により更なる排出抑制への取り組みを継続。現場余剰材調査を通じ排出抑制施策の立案。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新築現場においては現場での10品目の分別を実施 解体現場においては建設リサイクル法を遵守し分別解体を実施
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新築現場においては現場での分別精度の向上、及び作業員への再教育を実施

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	石膏ボード等のプレカット納品を一部で実施済。 コンクリートがらは全量再生利用業者への委託を実施。 ガラス・陶磁器くず、混合廃棄物は再生利用業者や熱回収を行う処分業者またはそれらを二次委託先に持つ中間処理業者を選定		

(第5面)

	② 計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 各種プレカット材の活用等、排出量抑制を念頭に、廃棄物の再生利用率の より高い処理施設を選定ならびに、現場での分別品目との組み合わせとし てより効率の良い再生利生業者を選定予定		
	※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請け完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模がわかるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

<新築現場>

木くず	再生処理業者へ委託→寝わらとして再資源化
紙くず	再生処理業者へ委託→再生紙原料として再資源化
廃プラスチック類	・再生処理業者へ委託→RPFとして再資源化 ・中間処理業者へ委託→再生処理業者へ委託
コンクリートがら	再生処理業者へ委託→再生砕石として再資源化
ガラス・陶磁器くず	中間処理業者へ委託→再生処理業者へ委託
廃石膏ボード	再生処理業者へ委託→石膏ボード原料として再資源化
混合廃棄物	中間処理業者へ委託→再生処理業者へ委託

<解体現場>

木くず	・再生業者へ委託→木片チップとして再資源化
繊維くず	中間処理業者へ委託→処分業者へ委託 ・処分業者へ委託
廃石膏ボード	・中間処理業者へ委託→処分業者へ委託 ・処分業者へ委託
金属くず	再生業者へ委託→金属原料として再資源化
ガラス・陶磁器くず	・中間処理業者へ委託→処分業者へ委託 ・処分業者へ委託
廃プラスチック	中間処理業者へ委託→処分業者へ委託
コンクリートがら	再生業者へ委託→再生砕石として再資源化

	2023年度実績	2024年度目標
がれき類	654.3	652
ガラス・陶磁器くず	154.5	152
廃プラスチック類	31.5	30
紙くず	43.7	41
木くず	233.8	231
廃石膏ボード	140.0	138
混合廃棄物	52.5	50
金属くず	8.5	8
繊維くず	1.5	1.5
合計	1320.5	1303.5

【実績】

	全処理委託量	認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
がれき類	654.3	0	654.3	0	0
ガラス・陶磁器くず	154.5	0	0	0	112.8
廃プラスチック類	31.5	0	30.5	0	0
紙くず	43.7	0	43.7	0	0
木くず	233.8	0	233.8	0	0
廃石膏ボード	140.0	0	128.2	0	0
混合廃棄物	52.5	0	0	0	52.5
金属くず	8.5	0	8.5	0	0
繊維くず	1.5	0	0	0	0
合計	1320.5	0	1099.2	0	165.3

【計画】

	全処理委託量	認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
がれき類	652	0	652	0	0
ガラス・陶磁器くず	152	0	0	0	111
廃プラスチック類	30	0	30	0	0
紙くず	41	0	41	0	0
木くず	231	0	231	0	0
廃石膏ボード	138	0	138	0	0
混合廃棄物	50	0	0	0	50
金属くず	8	0	8	0	0
繊維くず	1.5	0	0	0	0
合計	1303.5	0	1100	0	161